

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-E07

申請日	2019/10/17	承認日	2019/10/21	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

mFOLFOX6 療法	病名	食道癌	外科	提出医	Dr
対象	切除不能・進行再発の食道癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)									
			1	5	10	15	20	25	30			
レボホリナート	200mg/m ²	div(2hr)	○									
オキサリプラチン	85mg/m ²	div(2hr)	○									
フルオロウラシル	400mg/m ²	div(15min)	○									
フルオロウラシル	2400mg/m ²	civ(46hr)	○→									

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

← 1コース →

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
 - ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
 - ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液100mL /div 30分
 - ④ メイン【赤-3】5%ブドウ糖液250mL+オキサリプラチン /div 2時間
 - ④' Y側管【水色】5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間
 - ⑤ メイン【白】生理食塩液50mL+フルオロウラシル400mg/m² /div 全開
 - ⑥ メイン【黄】生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m² /civ 46時間
- } 同時に

【ルアーロック】ヘパリンNaロックシリンジ (終了後ポートフラッシュ)

※ インフューザーポンプ使用の場合(入院の場合は外来移行予定の症例に限る)

携帯型⑥' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル

(生食の量は最終用量が140mLになるように薬剤科で調整) /div 46時間 (3.7mL/hr)

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン(4mg) 1錠(分1 朝食後)

参考資料:Esophageal and Esiphagogastric Junction Cancers version1.2018(NCCNガイドライン)

Oedophageal cancer:ESMO Clinical Practice Guidelines for diagnosis,treatment and follow-up(ESMOガイドライン)